

弾塑性地盤解析 (GeoFEAS) 2D Ver.4

静的な条件下で地盤の応力～変形解析を行う
FEM解析プログラム

プログラム価格
¥715,000
(税抜 ¥650,000)

サブスクリプション価格
P.138～139参照
UC-1エンジニアシート
P.35～36参照

Windows 8.1/10/11 対応
有償セミナー

斜面安定解析、土留め掘削解析、応答震度法、シールドトンネル掘削時の周辺地盤影響解析、地盤と構造物の相互作用の検討、NATM工法でのトンネル施工検討解析、水圧の変動が地盤に及ぼす影響検討など、地盤に関係する多くの分野で威力を発揮します。

【プログラムの特長】

- 解析種別：静的全応力解析
- 解析次元：平面ひずみ解析、軸対称解析
- 「平成28年河川構造物の耐震性能照査指針・解説」対応
- ステージ解析(施工ステップ解析)対応、
- 材料定数や境界条件の変更などが可能
- せん断強度低減法:解析ステージごとに全体安全率の算出、すべり面の推定
- 局所安全率:積分点ごとに局所安全率を算出可能
- 浸透流解析との連携:浸透流解析で算出した水圧値を節点荷重として考慮
- 解析機能の併用:解析機能を併用し、変形解析と安定解析を同時に実行可能
- 構成則の混在:材料ごとに構成則を設定可能
- オートメッシュ対応

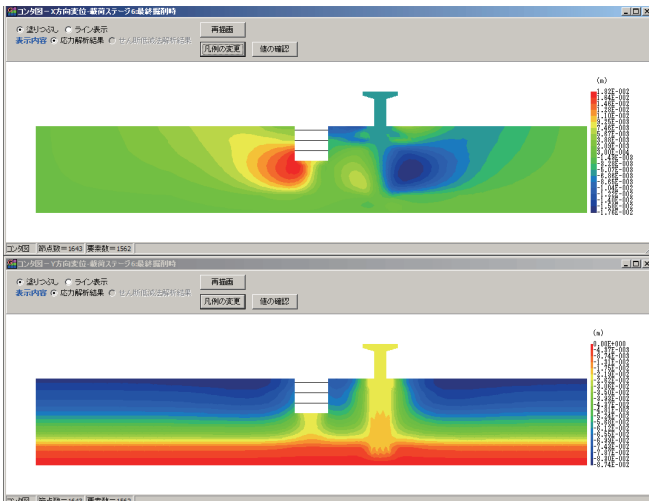
【荷重】

- 集中荷重:節点集中荷重(2次元・軸対称)
- 等分布荷重、分布荷重:線形分布荷重(2次元・軸対称)
- 体積荷重(自重):鉛直加速度(2次元・軸対称)
- 地震荷重:水平応答加速度(2次元)/鉛直応答加速度(2次元)
- 節点水圧:水圧を節点荷重とし、その変化が地盤に及ぼす影響を検討

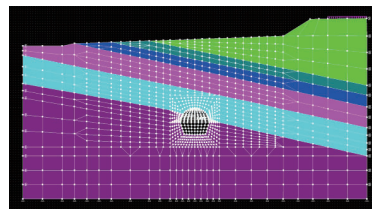
【UC-1との連携】

- 土留め工の設計・3DCAD:土留め壁変位を地盤のみの解析モデルに強制変位として与え、掘削底面に必要に応じ鉛直方向の掘削解放力を作成させる「強制変位法」で、周辺地盤の影響検討
- 圧密沈下の計算:地盤のめり込み変形のインポート対応

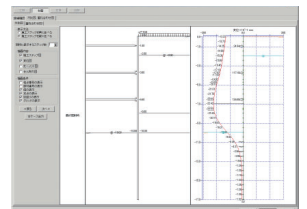
▼土留め掘削解析結果(X方向コンタ図)



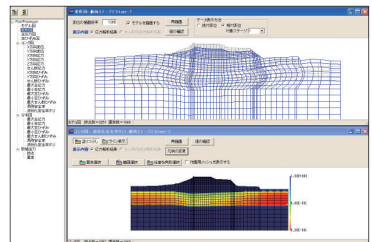
▼トンネル掘削解析-プリプロセス



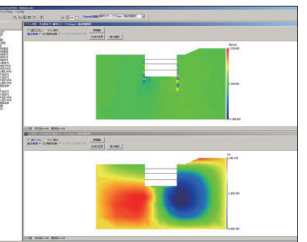
▼土留め工弾塑性結果



▼河川堤防地震時自重変形解析図(変形図、FL図)



▼土留め掘削解析結果(X方向コンタ図)



Geo Engineer's Studio Ver.2

静的な地盤の応力～変形解析を行う
2次元弾塑性地盤解析プログラム

Standard
¥638,000
(税抜 ¥580,000)
Lite(線形解析限定版)
¥495,000
(税抜 ¥450,000)
Windows 8.1/10/11 対応
有償セミナー

有限要素法(FEM)に基づく地盤解析用ソルバーをすべて自社開発。FEMモデルはCAD的な入力で作成し、SXF、DWG、DXFファイルのインポートも可能です。

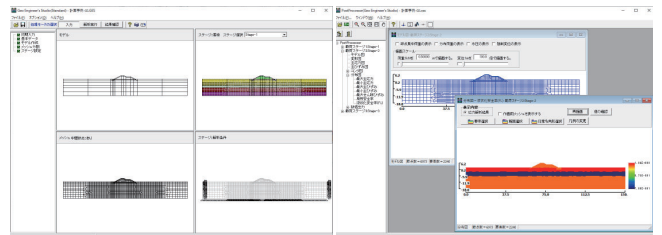
▼材料特性

製品名	構成モデル
Lite	線形弾性モデル
Standard	線形弾性モデル、モール・クーロン方式 バイリニアモデル、せん断剛性低減材料1,2、液状化材料1,2

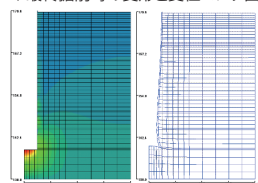
- モデル図、メッシュ図、任意ステージ図(要素定義、解析条件)をメインに配置
- CADファイルから検討モデルの作成が可能
- ステージ解析機能を備え、土留め掘削、トンネル問題、堤防液状化時の変形問題に適用可能
- 水圧荷重の考慮が可能
- 数値出力:節点または要素ごとの解析結果一覧を表示、HTML形式出力

- 弾塑性解析対応(Standard版のみ):バイリニア梁およびバイリニア棒要素/モールクーロンモデル
- 「河川構造物の耐震性能照査指針(案)・同解説」H19.3、「同Ⅱ.堤防編」H28.3に対応し、「液状化時自重変形解析」・「液状化後の体積圧縮による変形量の計算」に対応

▼液状化・弾完全塑性モデル例



▼最終掘削時の変形と変位コンタ図



▼液状化安全率(FL)の分布図

